

江ノ口小学校防災講演会（20250902）

近づく南海トラフの巨大地震—前回から80年目にやっておくべき事—

高知大学名誉教授・高知大学防災推進センター客員教授 岡村 眞

講演要旨

- 1 近いうちに必ず発生する巨大地震と巨大津波。歴史から学ぶ。
「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」O.F. ビスマルク。
- 2 地震の「ゆれ」は自然現象、その揺れを災害にするのは「人」。人の死は木造二階建ての二階が一階を押し潰して発生。耐震補強で死なない準備を。
- 3 1分間以上の長い揺れを感じたら、海溝型地震。まもなく津波が押し寄せる。揺れが止んだら高台へ。
- 4 水と食料では命は守れない。それらは地震と津波から助かった人が使う物。江戸末期から現在まで、水と食料がなくて死んだ人はいない。
- 5 津波火災を「想定外」にしない。現在の都市は燃えるものに囲まれている。
- 6 1メートルの津波に出会った98.5%が死亡（2011年東北地方太平洋沖地震）。津波が襲った街にはもう戻れない。災害後の計画を立てておく。
- 7 危機管理（Crisis control）は予防管理（Risk control）と緊急管理（Emergency control）からなる。大事なものは予防管理。今夜の大地震でも大丈夫ですか？

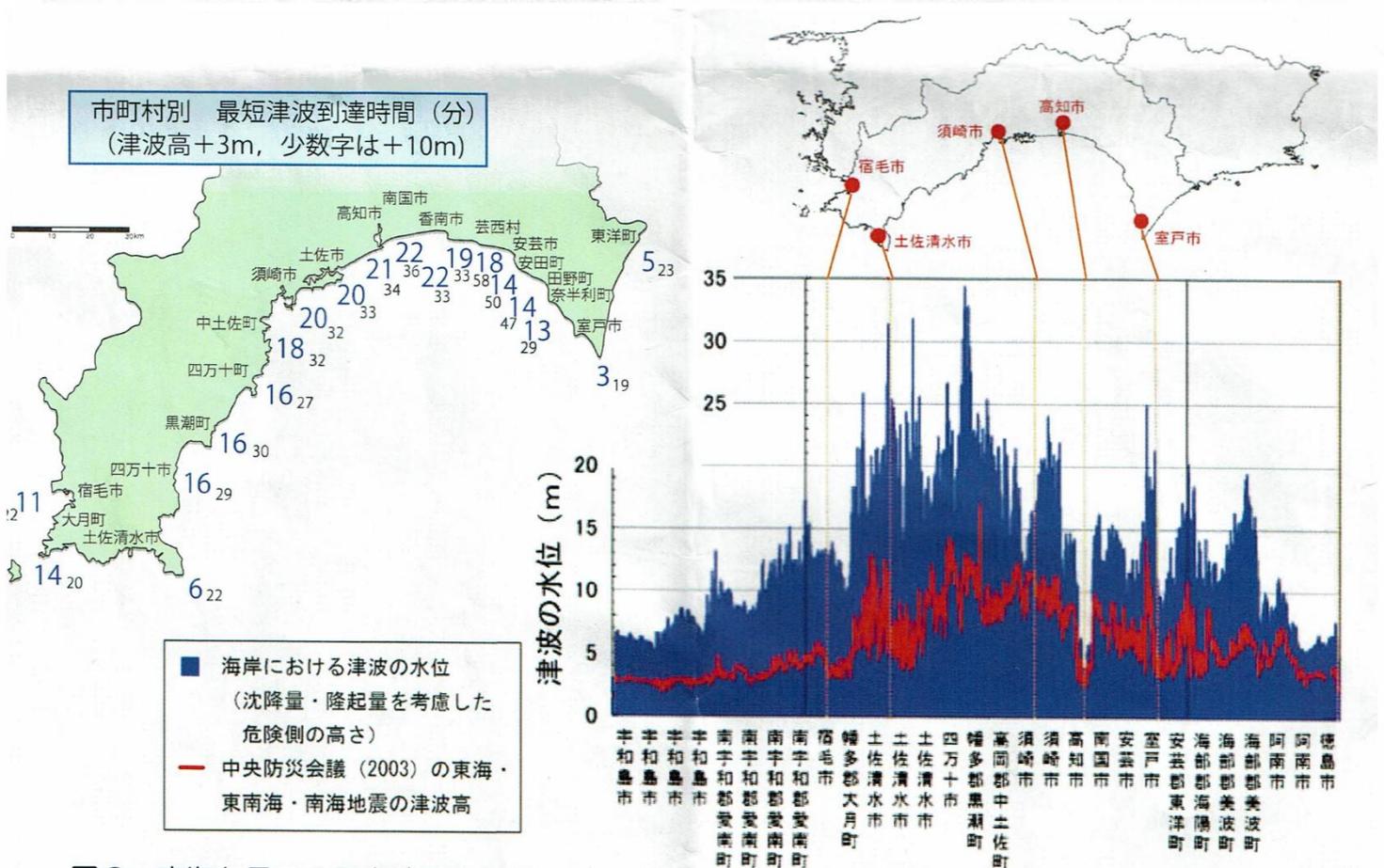


図6：南海トラフの巨大地震による
(右) 最大クラスの津波高分布 (いくつかの津波高推計の最大値の重ね合わせ) と
(左) 市町村別の最短津波到達時間 (いくつかの到達時間推計の最短値の重ね合わせ)
(中央防災会議「南海トラフの巨大地震検討会」、2012)